

日本共産党の平良木議員が討論



自民党と公明党の協議では集団的自衛権行使容認についてはほぼ合意したと報道されています。私は、「この間の国会論戦などで明らかになったように、集団的自衛権行使を容認すると、



集団的自衛権行使容認を許すなど、ほぼ毎日、街頭から訴えています。

行政改革調査対策特別委員会が24日開催されました。私は今度、この新しい委員会に所属することになりました。この日の議題は上越市第5次

「事務事業の総点検」は前回の「事務事業の総ざらいの第2弾」といいます。全体で1670もの事務事業の点検をするというのですが、市民サイドのチェックを入れる体制が明記されておらず、入れるべきだと主張しました。

アメリカが引き起こす戦争に日本が参戦し、戦闘地域で武力行使をすることになる。若い自衛隊員が血を流す。これはあってはならないことだ。先の大戦での上越市の戦没者は5404人にもものぼる。平和を守ろう」と訴えています。

行政改革大綱などの策定、事務事業の総点検など3つです。第5次行政改革大綱の構成案が示され、「さいごに」（行革）に取り組む行政の市政）のところで「市民目線で取り組む」とありましたが、「これは最初に持ってくるべきだ」と主張しました。

憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認は許されない

6月議会最終日の20日、常任委員長報告の後、議案などの採決が行われました。注目された「憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認に対する意見書提出に関する請願書」は賛成が少数で不採択となりました。採択に賛成したのは日本共産党議員団（3人）、市民クラブ（4人）、それに無所属の石平議員の8人だけでした。他の議員は賛成または退席（1人）でした。また、「入札監視委員会の開催と入札制度検討委員会設置に関する請願」も賛成少数で不採択でした。

賛成したのは、日本共産党議員団、市民クラブ、それに無所属の石平議員、永島議員の合計9人でした。採決に先立つ討論には日本共産党議員団の平良木議員が登壇、「集団的自衛権は、自国と密接な関係にある外国に対する武力攻撃を、自国が直接攻撃されていないにもかかわらず、実力をもって阻止する権利とされている。日本国憲法は、平和主義・国際協調主義の観点から憲法第9条で戦争放棄・戦力不保持を規定していることから、日本の歴代政権も、この

集団的自衛権の行使は憲法上できるものではないとしてきた。立憲主義を堅持する立場から、集団的自衛権行使の容認を目的とした憲法9条の解釈変更を閣議決定では決して行わないことを強く要望することは、非核平和友好都市宣言を行っている上越市の議会としての重大な責務といっても過言ではない」と採択を訴えました。また、入札制度に関する請願でも、「上越市では談合の状況証拠

たる高落札率、一位不動等、公正さが疑われる入札が続いている。入札監視委員会の開催と入札制度検討委員会設置は当然だ」と採択に賛成を表明しました。



【クガイソウ】オオバコ科の多年草。漢字で「九蓋草」あるいは「九階草」と書きます。茎に輪生する葉が層になっているので、そう呼ぶのでしょうか。花はびよーんとした形で、色は薄紫色です。今年は例年より少し花の時期が早い気がします。

はしづめ法一の活動レポート

No.1663 2014.6.29
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第三十一回 エゾエンゴサクが咲く日に

考えてみると、あれが「沢」(さわ・屋号)の父ちゃんと会った最後の日となりました。もう二月以上も前になります。近くの人から「退院したよ。こんだ、施設に入らんるげらだ」という電話をもらい、出かけてきました。

吉川区の最も東奥にある集落、上川谷の岩野(いわの・地名)に「沢」の父ちゃんの家があります。エゾエンゴサクの花がきれいに咲く道路の近くに車を止め、杉林の中を下りていくと、私の足音に気付いたのでしよう、犬が鳴きました。

家にあけてもらおうと、「沢」の父ちゃんは探し物をしてる最中でした。上越の街場に出ていくセガレさんがその夜に来ると言っていましたので、土地の図面とか大事なものを引き継いでおきたいと思っていたようです。

お茶をご馳走になりながら、病院での様子とか、新しく入る施設のことなどについて聞きました。私からも母の様子などを伝えました。

病院では、いうまでもなく酒もたばこも禁止です。「いつべんに酒とたばこたらんて、崖、落とさんたようなんだ」と言っていて笑いました。

「沢」の父ちゃんは、まじめな顔をしていて、話の中にちよこんと面白い話を入れるから、そのときの話は聴いている者の記憶にしっかりと残ります。入院直後に地元の人たちと一緒に見舞いに行ったときもそうでした。医師から病名を聴いて頭が破裂しそうだったと言った後、看護師さんから体を拭いてもらっている様子を教えてくださいました。「看護婦さんがチンチンの先っぽを押さえて、ぱっぱつとふくんだ」と言っていて、ミヨさんやトシイチさん夫婦、それに地域おこし協力隊の石川さんなどを笑わせていました。

新しく入る施設での暮らしについてもいろいろと気がもめたのでしよう、持って行くもの、置いて行くもの、新たに購入するものなど次々と頭に浮かんでいたようでした。

「いやー、新家庭持つ様なもんだ。冷蔵庫から何から何まで心配しなきゃならん。でも、まんまもみんな作ってくれろというし、洗濯もしてもらえらだ。ただ、いっぺこと金がかかるがすけ、金がなくなったらどうしろもんだ、そっっているがさ」

話の途中、犬が動き回りはじめたので、父ちゃんは、「やろ、洗濯もん倒すなや」と言っていて犬を叱りました。その時、年季の入った食器棚の前にある黒い電気釜が目に入り、びっくりしました。二人暮らしなのにとても大きな電気釜だったからです。たぶん、八合か一升炊きの釜だと思えます。

「ばかでつけ電気釜だねや」と尋ねたら、「ふたりっこでも、山の人間だすけ、三合炊くがど」という答えが返ってきました。いまの時代、二人で三合を食べるといのはめずらしい。でもこの家の二人は働き者ですから、体をたくさん動かすし、腹も減るのです。二人とも年齢的には八〇代の後半になっていますが、田んぼも畑仕事も第一線で頑張っていました。田んぼは、昨年のうちにすべて打っておいたと言います。

お茶飲みを終えて別れる間際、「沢」の父ちゃんが言った言葉が忘れられませぬ。「これが岩野の最後だと思おうと情けなくなる。でも、ちよこちよこ家につんできてもらえてるがすけ」。先日、「沢」の父ちゃんは亡くなりました。満八八歳でした。鉢巻きを締め、ヤンマーの耕耘機に乗って動き回る姿はもう見られませんが、岩野は野の花の宝庫、エゾエンゴサクをはじめ、アズマイチゲなどの花が次々と咲きます。時どき、カメラを持って訪ねたいと思います。

地域に大きく開かれた施設運営に注目

市議会厚生常任委員会が管内視察

市議会常任委員会が新たなメンバーで活動をスタートさせています。23日は厚生常任委員会が管内視察を行いました。視察したのは、㈱リボーンの「だいちスローライフビレッジ」と㈱くびき野ライフスタイル研究所のサンクス高田の2施設です。どちらも新しい施設(増築も含め)です。

スローライフビレッジでは入居が始まったばかりですが、食堂や売店などに一般のお客さんが入っていて、とても開放的な雰囲気が漂っていました。居住空間はゆったりしていて安らぎをおぼえます。施設内には小さな畑があり、働く場所もある。地域の人たちと交流できるスペースも十分とってありました。建物は新潟県産材をふんだんに使った

もので、集成材があちこちで見られました。

サンクス高田の訪問、私は2回目です。こちらもどんどん発展しているという印象を持ちました。担当者の説明によると、働く人も地元の人が多く、地元町内会などとの交流も活発だといえます。地元町内会の祭りには多くの社員が参加しているとのこと。(写真は左上が「だいちスローライフ」、下がサンクス高田)



上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	6月18日(水)	6月25日(水)
上越南消防署	0.033	0.030
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.046
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.047	0.040
東頸消防署	0.053	0.053
高士分遣所	0.050	0.056
名立分遣所	0.047	0.050

